

令和4年5月2日発行 第2号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115 北葛飾郡松伏町上赤岩 711

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

TEL 992-0051

発行責任者 校長 渡邊 康弘



一生の思い出となる修学旅行へ



校長 渡邊 康弘

新年度が始まって1か月が経過しました。依然として新型コロナ感染症対策をとりながらの学校運営ですが、生徒は元気に仲間とともに楽しそうにしている姿を見ることができます。特に、新入生は新しい毎日の中で、とまどいや緊張などがあると思います。しかし、とても明るく元気にあいさつが出来て、中学生としての自覚や意欲を感じます。部活動も決定して、2、3年生とも一緒に活動がスタートしました。

さて、ゴールデンウィークが明けると、3年生は5月13日（金）に修学旅行へ出発します。修学旅行は中学校3年間で一番思い出になる行事のひとつです。3年生は1年生の時のスキー教室が延期になり、この1月に実施できて、とても有意義な時間を過ごすことができました。それだけに修学旅行への思いはさらに増している事でしょう。3年生の教室をのぞいてみると、京都や奈良の行動計画をグループで楽しそうに協議していました。クラス替えをして、すぐにいろいろな事を決めなければならないので、とても大変でしたが、準備はしっかり進んでいるようです。

修学旅行について調べてみると、古くは明治時代ぐらいから始まったようです。新幹線が開通する前は修学旅行専用列車の「ひので」「きぼう」が走っていました。私も中学校の時に京都・奈良へ修学旅行に行きましたが、新幹線に乗るのはその時が初めてで、とてもワクワクしたのを覚えています。

ところで、修学旅行はどのように計画されていくのでしょうか。関東地方の中学校の旅行先は京都・奈良方面が定番となっていて、同じ時期に多くの学校が新幹線で出発することはできません。そのため関東地区公立中学校修学旅行委員会（関修委）が生徒数などを考慮して5月～7月の新幹線の輸送計画を立てて、日程の割り振りを決めることになっています。関修委に旅行の申し込みをするのが1年生の時の夏ごろです。11月下旬にはその学年の日程が発表されます。（関修委のホームページを見ると来年度の2年生や他校の日程もわかります）日程が発表されたら、修学旅行のおおまかなプランを決めて、3社以上の旅行業者に旅館と見積の依頼をし、旅館の場所や質と旅行費用などから業者を選定し1社と契約します。旅行業者の担当と何度も打ち合わせを行い、バス、タクシー、食事などの手配を徐々に進めていき旅行計画が完成します。

学習指導要領では学校行事の中の旅行・集団宿泊的行事のねらいが「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにする」となっています。中学校最後の宿泊行事である修学旅行が充実したものとなり、一生の思い出となるように、健康と安全に配慮しながら実施していきます。